

事業番号	15 05 02	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	外国語コミュニケーション能力育成事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・室	教学指導課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-4-2 教育再生プロジェクト		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成		実施期間	不明		～

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語によるコミュニケーション能力を身につけ、国際社会に生きる力を養う。 英語担当教員が指導力を高め、生徒がコミュニケーション能力を高めるための授業実践を行う。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ALTのさらなる効率的な活用を通じて、生徒が英語を使う機会を増やすことが求められている。 海外留学をする高校生の数が減っており、経済的に支援をすることで、卓越性を伸ばす機会の充実が求められている。 新学習指導要領の実施にともない、高等学校の英語授業は基本的に英語で行うこととされ、教員の研修が必要である。 	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】

事業内容	① 成果目標(H25)						
	<ul style="list-style-type: none"> 高校卒業時に英検準2級レベルを有する生徒の割合をH29年度40%に向けH25年度33%にする。 Can-Doリストの形で学習到達目標を公表する学校数をH29年度全学校実施に向けH25年度5校にする。 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26
					(当初)	(決算)	(当初)
		発信力育成プログラム(高校生の留学促進事業)プロジェクト8-4	直接	・長期5人の高校生の海外留学を支援する。	3,272	2,052	2,472
	英語力を強化する指導改善事業プロジェクト8-4	直接	・県立高校に研究拠点校、協力校を指定し、授業改善やCan-Doリストの作成の取組を支援する。 ・アップスキルプロジェクトによる英語担当教員の研修を行う。	2,375	1,367	2,372	
	外国語指導助手配置事業	直接	・43人のALTが県立高校すべてに配置、あるいは訪問し、すべての生徒が高校在学中にALTの授業をうけることを保証する。	187,712	184,844	187,847	
	スーパーグローバルハイスクール(SGH)設置事業	直接				32,062	
	発信力育成プログラム(高校生の海外研修、発信力育成講座)	直接				5,749	
			合計	193,359	188,263	230,502	

事業コスト	区分(単位:千円)						成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		当初予算	198,012	190,319	193,359	230,502			目標	成果	達成状況	
		補正予算	0	3,929	-1,220	0						
		合計(A)	198,012	194,248	192,139	230,502						
	Aの財源	国庫支出金	0	3,929	4,427	41,409	高校卒業時に英検準2級をレベルを有する割合	30%	33.0%	34.4%	達成	35.0%
		県債	0	0	0	0	Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数	2校	5校	5校	達成	15校
		その他(諸収入)	855	781	621	680						
		一般財源	197,157	189,538	187,091	188,413						
	決算額(B)	190,225	189,763	188,263								
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00							
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,258	8,258							
概算事業費(B(A)+C)	198,483	198,021	196,521	238,760								

目標に対する成果の状況	高校卒業時の英語力、Can-Doリストによる学習到達目標の設定について、目標を達成することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	グローバル人材を育成するため、語学教育全体の改善に対する要請はますます強まっている。事業を現行通り実施し、本年度と同様、高校卒業時の英語力の保証に努めるとともに、学校到達目標を設定し外国語授業の改善を図っていく。 また、平成26年度は「グローバル人材育成事業」を新規主要事業とし、その細事業に「外国語コミュニケーション能力育成事業」を設定するとともに、外国語(英語)の教育力の強化は小中高を通じて取り組む必要がある施策であることから「外国語教育充実支援事業」へ移行して引き続き実施していく。 さらに、SGH指定校等を支援し、その成果の普及を図るとともに児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力を向上させる取組を実施していく。